

飛鳥 高等学校 令和8年度（2年次用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 年次 1 組～ 6 組

使用教科書： (情報 I Step Forward! (東京書籍))

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 情報社会の問題解決</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する。 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善する。 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画する。 	<p>1 情報とその特性 [p. 4]</p> <p>2 メディアとその特性 [p. 6]</p> <p>3 問題を解決する方法 [p. 8]</p> <p>4 情報の収集と分析 [p. 10]</p> <p>5 解決方法の考案 [p. 12]</p> <p>6 知的財産 [p. 14]</p> <p>7 個人情報 [p. 16]</p> <p>8 情報セキュリティ [p. 18]</p> <p>9 情報モラルと個人の責任 [p. 20]</p> <p>10 情報技術の進歩と役割 [p. 22]</p> <p>11 情報技術が社会に与える光と影 [p. 24]</p>	<p>A 情報社会の問題解決</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。 	○	○	○	11

1 学期	<p>B コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解する。 ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解するとともに、表現する技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択する。 ・コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考える。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションと情報デザインが情報社会に果たす役割について考えながら情報と情報技術を活用し、試行錯誤して効果的なコミュニケーションを行う。 ・よりよいコミュニケーションを行うために自らの取組を振り返り評価し改善することを通して情報社会に主体的に参画する。 	<p>12 コミュニケーションとメディア [p. 34]</p> <p>13 情報のデジタル化 [p. 36]</p> <p>14 数値の表現 [p. 38]</p> <p>15 2進法の計算 [p. 40]</p> <p>16 文字のデジタル表現 [p. 42]</p> <p>17 音のデジタル表現 [p. 44]</p> <p>18 画像のデジタル表現 [p. 46]</p> <p>19 データの圧縮 [p. 48]</p> <p>20 デジタルデータの特徴 [p. 50]</p> <p>21 メディアと文化の発展 [p. 52]</p> <p>22 ネットコミュニケーションの特徴 [p. 54]</p> <p>23 情報デザイン [p. 56]</p> <p>24 操作性の向上と情報技術 [p. 58]</p> <p>25 全ての人に伝わるデザイン [p. 60]</p> <p>26 コンテンツ設計 [p. 62]</p>	<p>B コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している。 ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解するとともに、表現する技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。 ・コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えている。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションと情報デザインが情報社会に果たす役割について考えながら情報と情報技術を活用し、試行錯誤して効果的なコミュニケーションを行おうとしている。 ・よりよいコミュニケーションを行うために自らの取組を振り返り評価し改善することを通して情報社会に主体的に参画しようとしている。 	○	○	○	10
定期考査							1
2 学期	<p>C コンピュータとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解する。 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付ける。 ・社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。 ・目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善する。 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決にコンピュータを積極的に活用し、自ら結果を振り返って改善する。 ・生活の中で使われているプログラムを見い出して改善しようとするなどを通じて情報社会に主体的に参画する。 	<p>27 コンピュータの構成 [p. 72]</p> <p>28 ソフトウェア [p. 74]</p> <p>29 処理の仕組み [p. 76]</p> <p>30 論理回路 [p. 78]</p> <p>31 アルゴリズム [p. 80]</p> <p>32 アルゴリズムの表現 [p. 82]</p> <p>33 プログラミング基礎 [p. 84]</p> <p>34 プログラミング応用1 [p. 86]</p> <p>35 プログラミング応用2 [p. 88]</p> <p>36モデル化 [p. 90]</p> <p>37 シミュレーション [p. 92]</p> <p>38 モデル化とシミュレーションの例 [p. 94]</p> <p>39 シミュレーションの活用 [p. 96]</p>	<p>C コンピュータとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している。 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けている。 ・社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している。 ・目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善することができる。 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決にコンピュータを積極的に活用し、自ら結果を振り返って改善しようとしている。 ・生活の中で使われているプログラムを見い出して改善しようとするなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとしている。 	○	○	○	29
定期考査							1

3 学 期	<p>D 情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。 ・データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解する。 ・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考える。 ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考える。 ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用する。 ・データを粘り強く多面的に精査し、データに含まれる傾向を自己調整しながら見いだす。 ・情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画する。 <p>定期考査</p>	<p>40 ネットワークとインターネット [p. 106]</p> <p>41 インターネットの窓口 [p. 108]</p> <p>42 デジタル通信の仕組み [p. 110]</p> <p>43 安全安心を守る仕組み [p. 112]</p> <p>44 情報システム [p. 114]</p> <p>45 情報システムの信頼性 [p. 116]</p> <p>46 情報システムの活用 [p. 118]</p> <p>47 データの活用とデータベース [p. 120]</p> <p>48 データの管理 [p. 122]</p> <p>49 データの収集と種類 [p. 124]</p> <p>50 データの分析 [p. 126]</p> <p>51 不確実な事象の解釈 [p. 128]</p> <p>52 2つのデータの関係 [p. 130]</p>	<p>D 情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 ・データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解している。 ・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えている。 ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えている。 ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用しようとしている。 ・データを粘り強く多面的に精査し、データに含まれる傾向を自己調整しながら見いだそうとしている。 ・情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。 	○	○	○	17
	定期考査						1
							合計 70

飛鳥 高等学校 令和8年度 教科

情報 科目 情報活用

教科： 情報

科目： 情報活用

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2,3 年次

使用教科書： ()

教科 情報

の目標：

- 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報活用

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアなど、企業活動や生活の中で重要な役割を果たすソフトウェアに関する知識及び技能を身に付けられるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアなど、企業活動や生活の中で重要な役割を果たすソフトウェアを用いて問題を解決するための思考力、判断力、表現力等を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアなど、企業活動や生活の中で重要な役割を果たすソフトウェアを用いて問題を解決するための意欲を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 A 表計算ソフトウェアを用いて問題を解決するために必要な力を身に付けられるようにする。 また、関連する諸問題を題材とし、情報社会において求められる知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を身に付けられるようにする。	・表計算ソフトウェアに関する基本知識 ・表計算ソフトウェアの基本操作 ・表計算ソフトウェアの関数を用いた問題解決 ・ICTの基礎知識 ・情報Ⅱに関連し、多様かつ大量のデータを分析して意思決定を行う方法	(1)問題解決に必要な知識・技能があるか(提出物、テスト等) (2)問題解決に必要な思考力・判断力・表現力があるか(提出物、テスト等) (3)問題を積極的に解決していかうとする、主体的に学習に取り組む態度があるか(提出物等)	○	○	○	24
2 学期 B 表計算ソフトウェア及び文書作成ソフトウェアを用いて問題を解決するために必要な力を身に付けられるようにする。 また、関連する諸問題を題材とし、情報社会において求められる知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を身に付けられるようにする。	・表計算ソフトウェアの関数を用いた問題解決 ・表計算ソフトウェアのマクロ機能の基本 ・文書作成ソフトウェアに関する基本知識 ・文書作成ソフトウェアの基本操作 ・文書作成ソフトウェアを用いて伝わりやすい文書を作成する方法 ・ICTの基礎知識 ・情報Ⅱに関連し、表計算ソフトウェアの関数やマクロ機能などを用いて簡易的なシステムを構築	(1)問題解決に必要な知識・技能があるか(提出物、テスト等) (2)問題解決に必要な思考力・判断力・表現力があるか(提出物、テスト等) (3)問題を積極的に解決していかうとする、主体的に学習に取り組む態度があるか(提出物等)	○	○	○	26
3 学期 C 文書作成ソフトウェアなどを用いて問題を解決するために必要な力を身に付けられるようにする。 また、関連する諸問題を題材とし、情報社会において求められる知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を身に付けられるようにする。	・文書作成ソフトウェアなどを用いて伝わりやすい文書を作成する方法 ・ICTの基礎知識	(1)問題解決に必要な知識・技能があるか(提出物、テスト等) (2)問題解決に必要な思考力・判断力・表現力があるか(提出物、テスト等) (3)問題を積極的に解決していかうとする、主体的に学習に取り組む態度があるか(提出物等)	○	○	○	20
						合計
						70

飛鳥 高等学校 令和8年度（3年次用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ 演習

教科： 情報

科目： 情報Ⅰ 演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 年次

使用教科書：（ 高校情報Ⅰ Python（実教出版）、ベストフィット情報Ⅰ（実教出版） ）

教科 情報

の目標：

- 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ 演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。大学入学共通テスト「情報Ⅰ」を題材にし、科目「情報Ⅰ」に関連する知識及び技能を、実践的な形式で身に付けられるようにする。さらに、その延長として、科目「情報Ⅱ」に関する知識及び技能も身に付ける。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。大学入学共通テスト「情報Ⅰ」を題材にし、科目「情報Ⅰ」に関連する思考力、判断力、表現力等を、実践的な形式で身に付けられるようにする。さらに、その延長として、科目「情報Ⅱ」に関する思考力、判断力、表現力等も身に付ける。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。大学入学共通テスト「情報Ⅰ」を題材にし、科目「情報Ⅰ」に関連する事項を用いて問題を解決するための意欲を養う。さらに、その延長として、科目「情報Ⅱ」に関する学びに向かう力、人間性等も身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 既に実施された大学入学共通テスト「情報Ⅰ」の試験問題や関連テキストを題材に、「情報Ⅰ」に関する力を実践的な形式の中で身に付けられるようにする。 特に、基本知識を身に付けることやプログラミングに関する知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けることに重点を置いて指導する。	・大学入学共通テスト「情報Ⅰ」の概要や特徴 ・大学入学共通テスト「情報Ⅰ」を題材として学ぶことで、どのような力を身に付けられるか ・「情報Ⅰ」に関する知識事項 ・「情報Ⅰ」に関する問題解決 ・プログラミング ・情報Ⅱのうち、変化する情報社会の特徴やその問題点	(1)問題解決に必要な知識・技能があるか（提出物、テスト等） (2)問題解決に必要な思考力・判断力・表現力があるか（提出物、テスト等） (3)問題を積極的に解決していこうとする、主体的に学習に取り組む態度があるか（提出物等）	○	○	○	24	
2 学期	B 既に実施された大学入学共通テスト「情報Ⅰ」の試験問題や関連テキストを題材に、「情報Ⅰ」に関する力を実践的な形式の中で身に付けられるようにする。 特に、様々な問題場面や情報技術の活用場面に触れることで、「情報Ⅰ」に関する事項を使って問題解決をする力を身に付けることに重点を置いて指導する。	・「情報Ⅰ」に関する知識事項 ・プログラミング ・データの活用 ・情報技術を用いた問題解決 ・情報Ⅱのうち、変化する情報社会の特徴やその問題点	(1)問題解決に必要な知識・技能があるか（提出物、テスト等） (2)問題解決に必要な思考力・判断力・表現力があるか（提出物、テスト等） (3)問題を積極的に解決していこうとする、主体的に学習に取り組む態度があるか（提出物等）	○	○	○	26	
3 学期	C 共通テスト「情報Ⅰ」の本試験・追試験や、その関連問題を題材に、「情報Ⅰ」に関する事項を用いて問題解決をする力を身に付けられるようにする。	・「情報Ⅰ」に関する知識事項 ・「情報Ⅰ」の事項を用いた問題解決 ・情報Ⅱのうち、変化する情報社会の特徴やその問題点	(1)問題解決に必要な知識・技能があるか（提出物、テスト等） (2)問題解決に必要な思考力・判断力・表現力があるか（提出物、テスト等） (3)問題を積極的に解決していこうとする、主体的に学習に取り組む態度があるか（提出物等）	○	○	○	20	
							合計	70